

令和3年度薬学実務実習に関する連絡会議における議論について

令和4年1月7日
薬学実務実習に関する連絡会議

1. 背景

- 本会議は、現在の薬学教育モデル・コアカリキュラムに基づく薬学実務実習の在り方、実施体制等の大枠や方針について、関係機関間の調整を図るとともに、各機関の役割や検討事項を明確化し、薬学実務実習の実施に向けて各機関の取組へと引き継ぐことを目的としている。
- 平成27年に取りまとめた「薬学実務実習に関するガイドライン」においては、実施後も社会のニーズの変化に対応して定期的に見直し、改訂していくこととしている。

2. 検討事項と今後の対応案

- (1) 薬学実務実習の現状について
 - 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、概ね着実に実施されている。また、現在の薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の評価を行う必要がある。
- (2) 薬学実務実習に関するガイドラインの改訂について
 - 1. の実務実習の評価や、薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂に係る検討状況を踏まえ、評価方法等について関係者の意見を聞きながら整理する必要がある。
- (3) 本会議実施期間終了後の新たな協議の場の検討
 - 本会議の実施期間中は、関係団体（薬学教育協議会等）と連携し、引き続き本会議において、「薬学実務実習に関するガイドライン」の改訂について検討する。
 - 薬学系人材養成の在り方に関する検討会における、薬学教育モデル・コアカリキュラム等の検討状況を踏まえ、本会議の実施期間後は、適切な検討の場を引き続き検討する。